

真宗学会

◇研修旅行(西山方面)

十月一日(火)

見学地||善峰寺、三鈷寺、光明寺

指導||細川行信教授

参加||本多講師、江上助手、井上特別研

究生、他学生二十名。

◇修士論文中間発表会

十月二十三日(水) 於 二〇九教室

「蓮如における善導の受容」―六字積を

中心として―

久我 信

「他力信心の自覚道」

蜂箇 裕善

「浄業の機」

土方 慶

「真実報土」―存在と意義―

西方 正憲

出席||細川学会長、藤原教授、小野・江

上各助手、広瀬特研員、井上特研生、

ほか学生四十余名。

◇真宗学会大会

十一月六日(水)

於 視聴覚教室

「本願聞思の道」

本学助教 白井元成氏

「親鸞聖人の大乘仏教的救済観」

龍谷大学教授 石田充之氏

出席||松原・藤原・幡谷各教授、寺川助

教授、大門・本多各講師、小野・江上

各助手、広瀬特研員、井上特研生、他

学生三十名。

◇卒業論文中間発表会

十一月十九日(火) 於 一〇七教室

「聞」

大城 邦義

「往生について」

城崎 円

「念仏論」

加賀田栄香

「真宗教義の根本的課題」

貴山 明

「現生不退」

林 満由美

「無義為義」―宿業の感知と誓願不思

議― 山口 範之

「宿業と大慈悲心」―歎異抄を中心とし

て― 朝倉 瑞貴

「南無阿弥陀仏のこころ」

亀谷 亮子

「隠顕積の研究」

上田 計正

「御文の研究」―掟の精神について―

法雲 俊孝

出席||細川学会長、藤原・幡谷各教授、

寺川・白井各助教、大門講師、広瀬  
特研員、井上特研生、他学生約六十  
名。

仏教学会

◇仏教学会例会

十月二十三日(水)

於 一番教室

研究発表

一、天台智願における浄土教についての

一考察

博士課程三回生 石川信昭氏

一、教・行・証という語について

教授

出席||雲井会長ほか教職員、学生合わせ

て約四十余名

◇「仏教学セミナー」第二十号発行

―特集号 業思想の研究―

業に関する若干の考察 水野 弘元

律蔵とカルマン 平川 彰

仏教における業論展開の側面―原始仏

教からアビダルマ仏教へ―舟橋 一哉

業論の本質 佐々木現順

功徳を廻施するという考え方 桜部 建

原始仏教における帰依と業 吉元 信行  
南方仏教の業思想 野々目 了  
成業論の原典に対する一疑問 山口 益

中観学説における業の理解―『中論』第十七章「業と果の考察」の研究― 安井 広済

仏性の業―厭離穢土・欣求浄土― 小川 一乗

中辺分別論における煩惱と業 舟橋 尚哉

菩薩行としての業―撰大乘論無性註第二章第三十四節解説― 片野 道雄

成仏の道と業―般若経と涅槃経を中心に― 横超 慧日  
華嚴における業性の論理 鍵主 良敬  
天台止観と業相 福島 光哉

業報説の受容と神滅不滅 木村 宣彰

『往生要集』における業思想 坂東 性純

日本霊異記における因果応報思想―とくにその系譜について― 白土 わか

親鸞聖人の業思想 稲葉 秀賢  
親鸞における宿業の問題 幡谷 明

インド思想と業―序章― 雲井 昭善  
マハーヴィーラの業説 長崎 法潤  
◇仏教学会史蹟踏査 十二月一日(日)

行き先―奈良飛鳥(当麻寺、川原寺、岡寺、石舞台、飛鳥大仏)  
出席―雲井会長ほか教職員、学生合わせて約四十名。

◇仏教学会総会並びに例会 十二月十二日(木) 於 二番教室  
研究発表

一、中国初期の禅観について 博士課程三回生 川島常明氏  
一、初期仏教における宗教性の問題 ―Patissa― という言葉の表わす意味について― 教授 舟橋一哉氏  
出席―雲井会長ほか教職員・学生合わせて約五十余名。

哲学会  
倫理学会

◇哲学・倫理学会合同講演会 十一月二十九日(金)午後二時半  
於 図書館会議室

ハイデッガーとニヒリズムの問題 講師 関西大学教授 竹市 弘  
出席者―訓覇助教、箕浦助教、鈴木 講師、西井講師、島講師ほか教職員・学生五十余名。

会場に充滿する程の参加者があり、関係者一同を驚かせた。

宗教学会

◇宗教学会公開講演会

十二月十七日(火)午後二時半 於 図書館会議室

キリスト教思想における歴史の問題 講師、京大名誉教授 有賀鐵太郎  
出席者―坂本教授、大屋助教、堀尾助手、築山特別研究員ほか教職員・学生合わせて四十余名。

講演後キリスト教思想の中心問題をめぐって興味ある質疑応答が交わされた。

社会学会

◇公開講演会 日時 十二月十四日(土)午後一時半  
五時

場所 視聴覚教室並びに一号館会議室

講師 京都工織大教授 豊嶋寛城氏

題目 祖先崇拜と祖先供養

—東洋と西洋—

出席者 高橋教授、志水講師、松村助手、池田、佐々木、村井各講師、大屋先生、院生学生計四十名。

教育学会

◇公開講演会

日時 十二月九日(月)

場所 一号館会議室

講師 田村一二氏

題目 福祉と教育

出席者 太田教授、大竹助教授、田中講師他学生三十名。

国史学会

◇紀伊熊野三山研究旅行

十月一日(火)～三日(木)

一日、大阪天王寺駅午前九時二十五分出發。(バスにて)那智滝、那智大社、宝物館を見学、那智宿坊尊勝院泊。

二日、青岸渡寺、妙法山阿弥陀寺、同奥

之院、補陀落山寺、新宮速玉大社、宝物館、神倉妙心寺、神倉山、丹鶴城跡

を見学、新宮市千穂館泊。

三日、熊野本宮大社、旧社地(鬮鷄神社)を見学、昼十二時、本宮大社前にて解散。

引率指導 五来重教授、柏原祐泉教授、佐々木孝正講師、豊島修特研員。

参加 中川泰伸氏ほか学生二十二名。

◇国史学修士論文・卒業論文中間発表会

十一月十四日(木)～二十一日(木)

於 二番教室ほか

発表者 大学院 山崎時叙(修2)、「山

神信仰の研究」、四回生(柏原ゼミ)岡

田かほる「キリシタン伝来における庶民

の受容形態について」、(堅田ゼミ)飯村

悟「古代近江の蒙族について」、(佐々木

ゼミ)浦部美智代「中世婚姻史の研究」

ほか四十三名。

◇南山城方面史蹟踏査

十一月二十四日(日)午前九時半

見学場所、神童寺、海住山寺、山城国分寺跡など。

参加 柏原教授、佐々木(孝)講師、豊島特研員ほか学生若干名。

◇秋季研究発表並公開講演会

十二月四日(水)十二時二十分より

於 二一〇教室・旧館一番教室

◇研究発表(二二〇教室)

一、近世真宗教団發展史―特に一有力門徒と講を中心に― 菊地 武

一、融通念仏宗の成立基盤について 浜田 全真

一、備中地方のカンバラ祈禱について 豊島 修

◇公開講演会(旧館一番教室)

一、明治真宗の海外伝道 本学教授 柏原祐泉氏

一、平安時代の延暦寺根本中堂安置諸像―とくに主尊を中心にして―

滋賀県立短期大学教授 宇野茂樹氏

出席者 柏原教授、堅田教授、佐々木(孝)講師、豊島特研員、名畑助教授

ほか学生四十四名。

日本仏教史学会

◇大学院修士論文中間発表会

十月二十六日(土)午後一時

於 一号館会議室

天皇制の個と集団 美藤 康夫

室町・北野社の社会的研究 石原 孝夫

本願寺教団と戦国大名 中川 正純

方丈記の世界 荒川 正憲

最澄をめぐる諸問題 長谷川小四郎

行基の行動と政治的背景 田中 通夫

律令期における祥瑞災異思想

谷端 昭夫

聖徳太子信仰の発生 小島 恵昭

参加Ⅱ赤松教授、北西教授、名畑助教

授、佐々木(令)助手、院生・学生四十余名。

◇史蹟踏査(第二回)

十月二十七日(日)

近鉄奈良駅集合、浄瑠璃寺・般若寺・正倉院展見学。

参加Ⅱ赤松教授、北西教授、名畑助教

授、佐々木(令)助手、院生・学生二十余名。

◇公開講演会

十二月六日(金)午後二時半

於一号館会議室

中世村落と仏教

岡山大学教授 石田善人氏

参加Ⅱ赤松教授、北西教授、名畑助教

授、大桑講師、佐々木(令)助手、院生・学生四十余名。

◇「仏教史論」第八号発刊 十二月二十日

特集 靖国問題

日本人にとって「宗教」とは

目次

靖国思想の基調

真宗と神祇思想

靖国問題と教育

「非宗教性」の宗教的問題

ある情景からの覚えがき

宗教にとつての集団

靖国神社沿革

〈史料紹介〉

「神社問題」と戦時教学の形成

〈文献目録〉

昭和四十九年靖国問題関係文献目録

佐々木令信

十一月十四・十五日 於一号館会議室

指導、野上教授、滋野井助教、藤島専任講師、今井特別研究生、ほか専攻学生四十余名。

◇中国文学会例会

十二月十二日

於 図書館会議室

議題Ⅱ卒論中間発表

出席Ⅱ平野教授、河内専任講師、若槻助手、ほか専攻学生十八名。

◇東洋学大学院研究発表会

十月十九日 於 一〇八番教室

―発表者および発表論題―

尾崎正治(博士二回)

仏教資料所引道教経典の真偽―六朝隋唐初における道仏論争の一問題―

大森敏文(修士二回)

中国宗教反乱と僭称―後漢から魏晉南北朝―

白土セツ子(博士一回)

西域仏教美術の一考察

大島典男(修士二回)

『東西洋考』に関する一考察

藤島建樹(本学専任講師)

征服王朝「元」の政治感覚―宣政院使

◇東洋史学会中間発表

東洋史学会

東洋仏教史学会

中国文学会

から見て—

国文学会

◇秋季史蹟踏査(文学部)

十月一日(火)〜二日(水)

見学場所〓飛鳥寺・石舞台・橘寺・吉野  
・金峯山寺・桜本坊・水分神社・檀原  
神宮・久米寺など。

参加者〓山本教授・仲野教授・渡辺助教  
授・片岡助教・有田講師・石橋助手  
および学生三十余名。

英文学会

◇大谷大学英文学会

十二月四日(水)

視聴覚教室にて

「あいさつ」

教授 福永 和利

「英文学の旅」(映画上映と解説)

助教授 内藤 史朗

「ドイツ滞在時代のワーズワース」(研究発表)

助手 松田 憲

出席〓福永教授、内藤助教、榎原・広  
瀬講師、松田助手および学生四十名。

大谷学会

◇秋季公開講演会

昭和四十九年十一月七日(木)午後一

時〜四時 於 大谷大学図書館講堂

唐代復古文運動の背景

本学講師 河内 昭圓

元朝の仏教政策について

本学講師 藤島 建樹

性格形成の構造と教育

本学助教授 大竹 鑑

謙敬聞奉行 本学助教授 白井 元成

仏教経典現代語訳の諸問題について

本学教授 桜部 建